



井上 こうし

調布市議会議員

第46代 調布市議会議長

無所属 49歳

このまちの未来のために

調布に育てられた。今度は、私が調布に恩返しをしたい。

調布に近い世田谷区で生まれ、両親の意向もあり調布の小学校へ通った6年間。通学路で感じた、木漏れ日と緑の風。あの原風景が、私と調布の出会いでした。

高校生のとき調布に転入。新しい生活が始まりました。「将来は医者になりたい」——尊敬する祖父が医者だった影響を強く受け、医学の道を目指して受験に挑みました。が、5年の浪人生活。気づけば23歳。経済を学び、世の役に立とうと舵を切り、経済学部に進学。父からは「税理士の資格を取れ」と勧められていたそんな折、構内の掲示板で見かけた「選挙ボランティア募集」の小さな一枚の張り紙。政治と経済は密接な関係にあることから、これまで関わりのなかった政治に興味を抱きました。

世間が抱く政治の印象を変えたくて。

大学生生活をするなか4回の選挙ボランティアとして政治の世界を垣間見ました。「今のままの政治でまちの未来が明るくなるのか——そんな疑問を抱いた私は、ならば自分が変える側に回ろうと、26歳で地元調布の市議選に立候補しました。

社会に出る前に市議となった私は、改めて経済を学ぶ必要性を感じ、大学院を受験。昼は市議、夜は学生と二足の草鞋の生活を送りました。あれから6期、23年。議長も経験しました。「まちの未来を明るくしたい」その思いは今も変わりません。

初出馬からいつも傍らで支えてくれた彼女は、二期生のとき最愛の妻となりました。夜学に通うことも笑顔で後押ししてくれました。男児二人が誕生。幸せな家族を築き始めた平成29年3月、妻は子宮頸がんを患い36歳の若さで他界しました。長男は小学3年生、次男は真新しいランドセルを横に、入学を目前にした矢先でした。

議員活動が続けながら、ひとり親として息子たちを育てる日々。父母と妹たちが食事の支度をはじめ、息子二人との生活のサポートをしてくれました。家族がいたから、消防団や青年会議所の仲間がいたから、私は前を向けた。

でも、ふと思うのです。

もし、頼れる家族がいなかったら…と。

病気、介護、ひとり親。人生の中で突然訪れる「支えが必要な瞬間」に頼れる家族がいるかどうかは選べません。だから行政が、地域が、その「もしも」を支える仕組みでなければならない。妻を亡くし、ひとり親として奮闘した日々。家族の援助があって今日まで歩み続けている。この体験が、私の政策の原点です。

49歳になった今、決断します。

調布に育ててもらった恩を、しっかり返したい。

約束は言葉だけでなく、指標となる数字で。

4年後、皆さんに採点していただける約束を5つの柱として掲げます。

続きは裏面へ▶

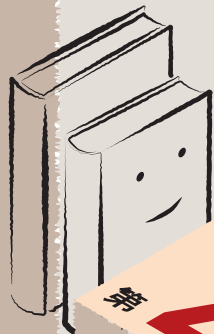
5つの柱

井上こうしが取り組む、調布の未来

健全な財政を、市民の暮らしのために

経済学部、そして大学院で財政を学び市議会での経験を糧に私が、調布市の財布を預かる覚悟を持って臨みます。花火も映画のまちも図書館も、ずっと続けたい。そのために、稼げるところは稼ぎ、守るべきところに財源を回します。

- 調布花火・映画のまち関連イベントへの民間資金（企業協賛・クラウドファンディング・ネーミングライツ等）を**4年累計5億円以上確保**することを目指す
- 図書館の図書購入費を**現在（約6,300万円）より2割以上増やす**ことを目指す
- 国領・富士見・神代の**図書館分館のバリアフリー化**を推進する

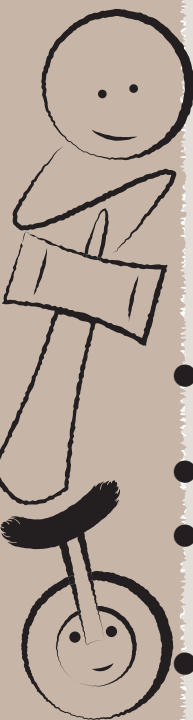


第2の柱

子育て・若者支援は、「受け皿」と「その後」に責任を持つ

妻を亡くし、ひとり親として息子たちを育てながら痛感したのは、「支援の入口より、出口が大事だ」ということです。相談を受けた回数ではなく、子どもの人生が実際に動いたかどうかで測ります。

- 小中学校の老朽化対策・予防保全工事を計画どおり進め、**子どもたちが安心して学べる環境**を守る
- 市内に**プレーパーク**を設ける取り組みに着手する
- 子ども・若者支援における「**次のステップへ進めた割合**」を**60%以上**、「**支援継続率**」を**90%以上**とすることを目指す
- 子ども食堂を軸として、**子どもたちの食とご年配のボランティアの皆さまの「やりがい」**をサポートできる行政の関わり方を示す



第4の柱

防犯・防災は、起きてからではなく起きる前に

消防団第9分団に15年在籍し、分団長も務めました。「なんとなく安心」では市民は守れない。現場を知る人間として、数字で結果を出します。

- 調布基地跡地留保地を防災の核として整備し、**令和10年度第1四半期の供用開始**を実現したい
- 市内の刑法犯認知件数を令和7年実績から**2割削減**。侵入窃盗・自転車盗・粗暴犯など地元で防げる犯罪は**3割削減**を目標とする
- 高齢者世帯の詐欺対策実施率を**市内75%以上**、防犯機器購入補助の利用世帯を**4年累計3,000世帯以上**とすることを目指す



第3の柱

医療・介護は、孤立させない仕組みで支える

家族が病に倒れたとき、地域がどれだけ支えてくれるか。頼れる家族がいるかどうかは、選べません。だから行政が、地域が、その「もしも」を支える仕組みでなければならない。

- 地域包括支援センターの機能を強化し、**医療・介護・生活支援をつなぐ相談体制**を充実させる
- 介護予防の取り組みを強化し、**要介護認定率の上昇を抑える**ことで介護保険料の負担増を抑制することを目指す
- 仕事をしながら介護を担う「**ビジネスケアラー**」への支援を拡充する
- 認知症になっても**住み慣れた調布で暮らし続けられる**地域づくりを推進する
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に基づく「**個別的支援（ハイリスクアローチ）**」の**対象者カバー率を100%**
- 「終活支援」を通じた、**自身の望む医療・ケアの事前意思表示率を50%以上**

第5の柱

住環境は、調布の原風景を次世代へ

子どものころ、深大寺の緑の中で感じた「いいまちだな」という感覚。あの風景を、次の世代にも手渡したい。住み続けたいと思えるまちの環境を、丁寧に守り育てます。

- 深大寺周辺をはじめとする**緑の環境保全**に取り組む
- 自宅周辺のバリアフリー化・耐震化など**住居環境の整備**を推進する
- 生活道路の補修要望への対応を迅速化し、**市民が不満を感じない道路環境**を目指す
- 既存住宅への**環境負荷軽減設備**（太陽光、蓄電池等）の導入補助件数を**年間500件以上**

井上耕志 プロフィール

調布市議会議会運営委員長 市議会会派：チャレンジ調布所属

柏野小学校学校開放運営委員会顧問、調布青年会議所シニアクラブ会員、調布市消防団第9分団前分団長

昭和51年（1976年）7月6日生 O型 マリアの園幼稚園・晃華学園小学校・世田谷区立上祖師谷中学校

日本大学櫻丘高等学校・東京都立大学経済学部・日本大学大学院経済学研究科修士課程修了

26歳の初当選から6期目、現在49歳

家族：平成29年子宮頸がんて妻を亡くし、18歳・15歳の息子のひとり親として子育て中

皆様のご意見をお聞かせください

調布市議会議員 井上耕志

■ 自宅 〒182-0013 調布市深大寺南町 1-19-25 電話・ファックス 042-441-8260
携帯 090-2722-5742 last-last-order@docomo.ne.jp Eメール inoue12214@aol.com



都政と市政を結ぶ
民主フォーラム

レポート 2026年5月号

〒182-0016 調布市佐須町 1-22-14

討議資料